

## JWWA K 148

### 水道用

### レジンコンクリート製ボックス

JWWA

JWWA K 148

#### 1998.3.30 制定

##### 制定趣旨：

弁室等の構築に使用するボックスは、鉄筋コンクリート製のほかに高強度で軽量のレジンコンクリート製が普及してきたことから、また平成 5 年 11 月に車両制限令及び道路構造令が改正されたことに伴う自動車荷重 25 トンを考慮した鉄蓋の規格制定に際して、これに対応可能なボックスの規格化の必要性が生じてきた。

##### 制定要点：

- (1) 材料をレジンコンクリート製とした。
- (2) JWWA B 132、JWWA B 133 に対応できる構造とした。
- (3) 自動車荷重 25 トンを考慮した。
- (4) 様々な土被りに対応できるようなボックス高さを規定した。

#### 浅層埋設に対応

## JWWA K 148

### 水道用

### レジンコンクリート製ボックス

JWWA

JWWA K 148

#### 2000.3.27 改正

##### 改正趣旨：

平成 11 年 3 月 31 日に水道管の埋設深さについて、建設省より“電線、水道、ガス又は下水道管を道路の地下に設ける場合における埋設深さ等について”の通知が出されたことを受けて、浅層埋設化に対応した。

##### 改正要点：

- (1) 円形 1 号、2 号、3 号、4 号及び角形 1 号、2 号のボックスの種類や高さを追加
- (2) 管頂から底版までの距離が十分に取れない場合を考慮した分割底板ボックスの種類を規定  
なお、適用範囲は、水道用円形鉄蓋及び水道用角形鉄蓋に使用する水道用レジンコンクリート